

## 第5回 有明海のなぜ?シンポジウム

有明海の環境変化はどこまで科学で解明されたのか、また、今後の進むべき方向は

平成23年2月19日(土)、佐賀大学理工学部6号館都市工学科大講義室(佐賀市)にて第5回「有明海のなぜ?」シンポジウム～有明海の環境変化はどこまで科学で解明されたのか、また、今後の進むべき方向は～を開催しました。

このシンポジウムは平成17年6月に10年期限で設立した当機構が、中間点の5年を経過したことから、これまでの活動を振り返り、これからの活動を戦略的に進めていくため、有明海再生を目的とした各プロジェクトの推進やその評価などに携わった関係者の方々をお招きし、昨年3月から実施してきた「有明海のなぜ?」シンポジウムの総括として開催しました。

当日は、市民や研究者、行政関係者など、約120名の参加がありました。

第1部では、当機構から、社会事象、自然現象など有明海を巡る動きとともに当機構の設立背景や主な活動を報告した後、「有明海調査研究の到達点」と題し、平成18年12月に環境省の有明海・八代海総合調査評価委員会がまとめた委員会報告に加え、これまで当機構で取り組んできた研究、佐賀大学や九州大学などの大型プロジェクトの研究成果、シンポジウムで議論、勉強してきたことを中心に報告し、お招きした有識者の方々から「現状がよく理解できたし非常に感銘を受けた。是非、文章化して資料として残して欲しい。」「地道に地元で研究を重ね、生物、物理、化学など違う分野を統合して有機的に発表されたことがよかった。」と高い評価をいただきました。

第2部では、第1部の共通認識を基に、有明海を豊かな海にし、次世代に引き継ぐという観点から、長期的、短期的視点から今後の方向性について討論を行いました。

詳細については「平成22年度有明海なぜ?シンポジウム講演集」に掲載しています。



パネルディスカッション・講演の様子



## 「有明海再生に関する研究等助成」の募集について

今年度も「有明海再生に関する研究等助成」の募集を会員の皆様を対象に行います。

これは、有明海再生に向けた環境改善技術の開発等に関する研究等を推進するため、調査・試験・研究に必要な経費、または、国等へ研究費助成を申請するための準備調査・試験・研究に必要な経費を助成するものです。

なお、詳細につきましては、当機構からのご案内、又はホームページの募集要項を参照ください。(6月上旬から掲載予定)

## 有明海再生機構中間成果発表会

**日時** 平成23年5月28日(土)

**時間** 13:00~15:30

**会場** 佐賀大学理工学部6号館

**入場  
無料**



## 有明海再生に関する有識者意見交換会

2月20日(日)、佐賀大学工学部6号館多目的セミナー室(佐賀市)にて、有明海再生に関する有識者意見交換会を開催しました。当日は研究者、行政関係者をはじめ約70名の参加がありました。

第5回有明海なぜ?シンポジウムの成果を踏まえ、当機構の中間提言として、今後の考え方を示す際の参考とするため、有明海再生に関する有識者を招き、有明海再生の目標像、それに関する課題、解決するための調査研究のあり方などについて、意見交換会を行いました。

意見交換会や傍聴者からいただいた主な意見、キーワードは次のとおりで、これらを参考に、今後、当機構の方向性を含め中間提言として取りまとめます。

### <有明海再生の目標像、キーワード>

- ・豊かな生態系サービスを将来にわたって持続的に享受できる海
  - ・生物多様性の保持(極相化の排除)
- ・情報の循環、関係者の合意形成による目標像の設定
  - ・かつてあった風土(人と海のかかわり)の再構築
  - ・二枚貝の再生、ノリ生産の安定化

### <目標達成のための道筋、課題、ヒントなど>

- ・科学の知と地域の知の共有、融合
- ・水産資源ではない貴重生物の価値の発見
- ・有明海全体、外海との関係など海域の全体システムの理解
  - ・生態系バランスに基づく漁業の推進
  - ・生産の場、希少生物の生息場としての認識
- ・有明海はコモンズ(共有地)、公共用水域との関係者の認識の共有
  - ・漁業者、住民、行政も研究の一員となる仕組みの構築
  - ・漁業者や住民の意識の変革、沿岸住民の質の向

※詳細は、平成22年度有明海なぜ?シンポジウム講演集に掲載しています。



意見交換会の様子

## 有明海再生技術コンサルタント受け付けについて

今年度も支援会員を対象に有明海再生技術コンサルタント事業を実施します。有明海再生に関する調査・研究、技術開発の事業活動について、正会員(大学等の研究者)が助言を行うことで、支援会員の事業活動を支援していくことを目的に実施します。費用は無料で年間を通じて相談等受け付けておりますので、どうぞ活用下さい。

お申し込み・お問い合わせは当機構まで。

電話(FAX兼用)：0952-26-7050

Eメール：npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp



## 有明海講座を開催しました。

### 地盤工学における干潟・海岸地形の諸問題への取り組み ～全国から有明海沿岸低平地域にかけての事例紹介～

2月9日(水)に日野剛徳准教授(佐賀大学低平地沿岸海域研究センター)をお招きし、有明海講座「地盤工学における干潟・海岸地形の諸問題への取り組み～全国から有明海沿岸低平地域にかけての事例紹介～」をアバンセ(佐賀市)にて開催しました。当日は約70名の参加がありました。

はじめに、地盤工学会では毎年、1,000を越える論文が発表されており、その中で、2010年に「干潟と海岸地形」という専門セッションができ、重要な位置を占めるようになってきているという報告がありました。

有明海における海岸線の変遷と沿岸低平地の形成で、縄文海進期には、平均すると1年に2cm海面が上昇しており、2cmの海面上昇で30mも海が陸側に進行する試算になるという話があり、驚きました

有明海には31箇所の港湾・漁港施設があり、浮泥・底泥による施設の埋没問題に苦しめられており、平成3年から、平成15年度の13年間にわたる浚渫度量の合計は約56万m<sup>3</sup>になり、浚渫に要する費用は合計12億円に及ぶということでした。しかも、その効果は持続されず、浚渫を繰り返さなければいけない、浚渫土の処理問題など多くの課題が残っているということです。

そこで、浚渫土を道路の盛土に使用する実験を行い、処理問題解決策にできないかと考えたそうです。そこでも、コストや長期強度安定性への疑問など問題が浮上するが、一つずつ解決方法を見出しているということでした。



## 環境保全サポーターの集い「森や川のことを語ろう会」に参加しました。

3月13日(日)にハイネスホテル久留米(福岡県久留米市)にて環境保全サポーターの集い「森や川のことを語ろう会」が福岡都市圏広域行政事業組合主催で開催されました。

この集いは、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域において環境保全活動を行い、福岡都市圏広域行政事業組合が行う環境対策事業の助成を受けている団体間で意見交換を行うことにより、互いの地域での活動を理解し親睦を深め、なお一層の意識高揚、環境保全活動への取り組みの促進を図ることを目的に開催されました。

当機構からは、「調査研究などを行っている活動報告とともに、森や川、平野での環境保全活動が有明海の再生につながるので、これからも活発な活動を！」と各団体にエールを送りました。





## 支援会員の活動紹介 (有明海の再生を願い当機構の活動を支援してくださっている会員の皆様)

### 第14号 株式会社 九州コーユ 様

当社は、昭和46年に創立以来、ビジネスフォーム(コンピュータ用帳票)の製造販売を主業務として成長を続けております。現在は、コンピュータに関するハード・ソフト・サプライとあらゆるサービスが提供できるように、システム開発部門やデータ処理・封入封緘処理を行うアウトソーシング事業など、お客さまから「期待される企業」を目指して事業展開を行っております。



お問い合わせ



〒845-0032 佐賀県小城市三日月町金田813 TEL:0952-73-4132 FAX:0952-73-4645 URL:<https://www.k-koyu.com>

## 正会員のご紹介

有明海再生に関する研究を学術的に行う大学等の研究者で構成される正会員に新たに入会していただきました。

### 齋田 倫範 助教 (鹿児島大学 大学院理工学研究科 海洋土木工学専攻)

私は大学院在学中から有明海の研究に取り組んでいます。これまでは潮汐・潮流・成層構造など有明海の物理環境に関する現地観測を中心とした研究を行ってきました。2010年4月に九州大学から鹿児島大学に赴任し、地理的に有明海から少し遠ざかってしまいました。現場に足を運ぶ機会も以前より減ってしまいましたが、有明海の再生に役立つような研究成果を発信できるように引き続き頑張りたいと思っています。研究者としてまだまだ未熟ですが、多くの先生方にご教示いただきながらこれからも有明海の研究に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## ●支援会員の活動紹介記事を募集しております

当機構で発行しているニュースレターABROにて活動紹介をしませんか？  
ABROは年4回、毎回2,000枚発行し、行政や九州各県の図書館や公共施設に配布設置しています。記事要項は以下のとおりです。

- 字数・・・400字程度
- 写真・・・1枚
- 掲載料金・・・無料
- 提出方法・・・ワードファイルをメールにて(Eメール：[npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp](mailto:npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp))

## ●支援会員募集のご案内 ※詳しくは事務局までお問い合わせください。

有明海再生機構では、当機構の趣旨に御賛同いただき、活動を支援して下さる支援会員(企業・団体・個人)を募集しております。

年会費：**企業・団体・・・ 一口 5万円**      **個人・・・ 一口 1万円**

## 編集後記

2年前の植樹イベントで植えた木々の様子を干潟ゆか公園に見に行きました。当時は小さな苗だった木が、大きくなっており、これからは有明海とともに見守っていききたいと思います。(く)



## 発行

NPO法人 有明海再生機構事務局

〒840-0041 佐賀県佐賀市城内1-5-14 佐賀県自治会館4階

TEL(FAX兼用)：0952-26-7050

E-mail：[npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp](mailto:npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp)

ホームページ：<http://www.npo-ariake.jp/>

※H20.8月、事務所移転で住所が変わりました。電話(FAX)はそのままです。